

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 140-002  
 住 所 東京都品川区東品川4丁目10番1号  
 氏 名 株式会社コナミスポーツクラブ  
 代表取締役社長 落合 昭 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社コナミスポーツクラブ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-18-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	N	生活関連サービス業、娯楽業
	中分類	80	娯楽業
主たる事業 の内容	スポーツクラブの開発、運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,893	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連 絡 先	担当部署	担 当 部 署 名	管理本部総務部総務グループ
		所 在 地	東京都品川区東品川4丁目10番1号
		電話番号	03-3746-5733
		F A X 番号	03-5460-1711
		メールアドレス	

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成29年度 ~ 平成31年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

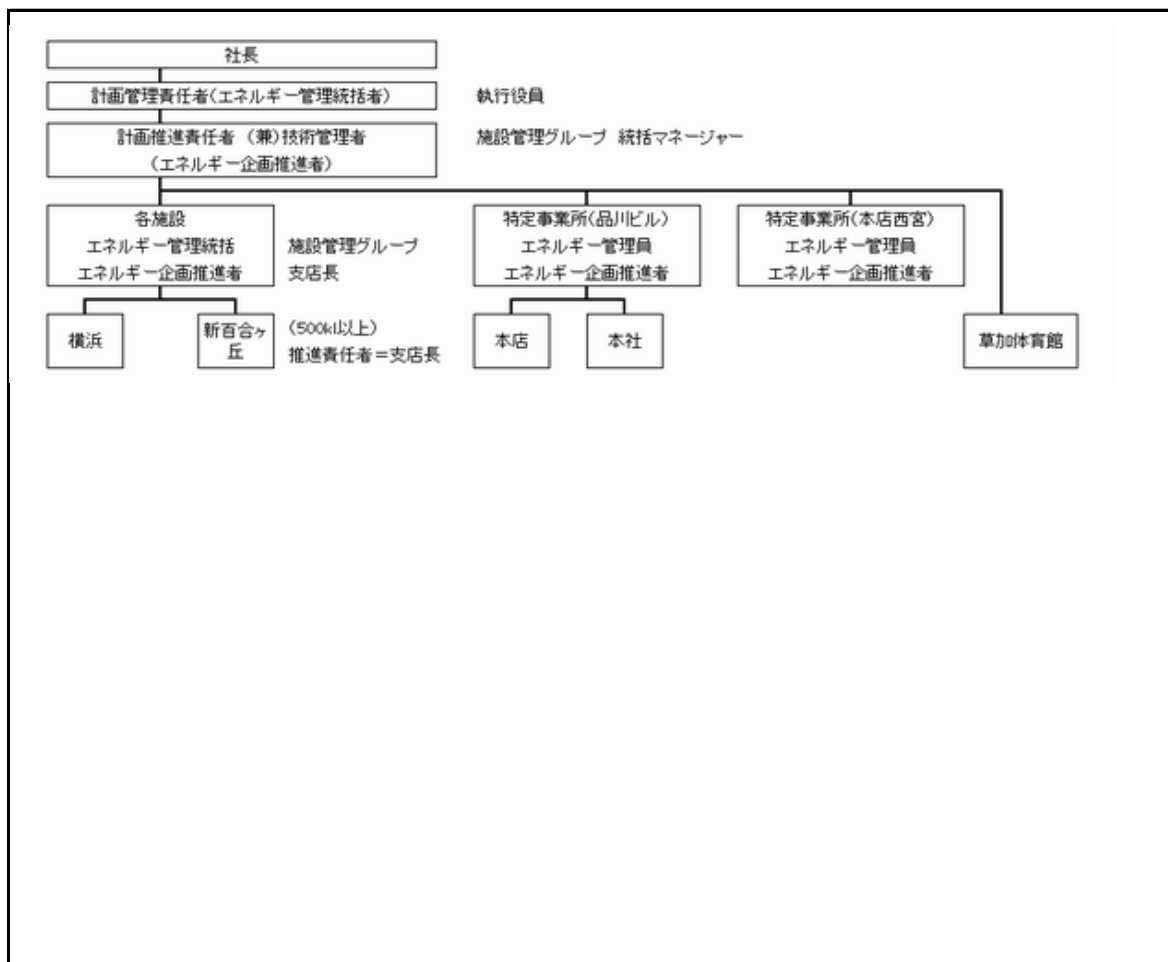
- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

**事業者全体基本方針**  
 次の3つの方針により、積極的な地球温暖化対策を進めている。  
 (1)施設の運営にあたって、施設責任者を中心として全スタッフが組織的に省エネルギー対策を継続して行う。  
 (2)目標を明確に定め、温室効果ガス排出量削減に取り組むとともに、未達成の施設については、その原因を明確にし改善を確実に実施する。  
 (3)省エネ機器の導入、高効率機器への更新、温室効果ガス排出量が少ない燃料への転換を計画的かつ積極的に、温室効果ガス排出量削減の削減を継続的に進める。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



## 3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

## (1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

## ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成28年度	目標年度	平成31年度
基準排出量	(実) 3,588 (調) 3,589	t-CO <sub>2</sub>	(実) 3,480 (調) 3,480
削減率	(実) 3.0 (調) 3.0	%	削減量 (実) 108 (調) 109

## イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	延床面積	単 位	m <sup>2</sup>
基準年度の値	0.2071	目標年度の値	0.2009
削減率	3.0	%	
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由			

## ウ 目標設定に関する考え方

<p>新百合ヶ丘支店、川崎支店、武蔵小杉支店の館内照明のLED化を実施する。 また、プール・浴槽のろ過循環ポンプのインバーター制御を導入予定。 新百合ヶ丘支店のボイラーの高効率機器に更新する（検討中）。 以上より、年1%、3年間で3%の削減を目標とした。</p>
---

## (2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

<p>全社的には、温室効果ガス排出量を平成31年度に平成28年度比で3%の削減を目標としている。</p>
--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○照明設備の運用管理 館内照明設備のLED照明への更新を行う。</li> <li>○ろ過循環ポンプの運用管理 プールおよび浴槽関係のろ過循環ポンプに、インバーター制御機器を設置し、電力使用量を削減する。</li> <li>○節水による給湯熱源の省エネ シャワーの節水器具設置、適正な運用管理、漏水の早期発見および対応により、給湯使用量を削減し、熱源であるボイラーのガス使用量の削減をはかる。</li> <li>○空調の適正管理 エアコンの設定温度を社内ECO基準に合わせて適正な室温管理を行う。</li> <li>○老朽化機器の高効率化更新 更新時期にきているボイラーを高効率の機器に更新する。</li> </ul>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生可能エネルギーについては、今後の課題とするが、費用対効果の面から、積極的には行わない。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
なし			

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
なし			

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

○プール照明を高効率照明(無電極照明等)に更新。(平成26年度)  
 ○新百合ヶ丘支店のGHP更新(平成24年度)  
 ○館内各照明器具(ダウンライト)LED化推進中。(平成28年度までに30%導入)

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

今後の検討課題とする。

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- コージェネレーション設備の導入検討
- ゴミ排出量の削減推進

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,588	t-CO <sub>2</sub>
(調)	3,589	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
新百合ヶ丘	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-18-1	8048	フィットネスクラブ	1,130 t-CO <sub>2</sub>
川崎	神奈川県川崎市幸区堀川町2-1 ラゾーナ川崎プラザ西5-6F	8048	フィットネスクラブ	1,072 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	1
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	1
100~200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--